

嵐が我々に襲いかかっている——現実に！

SOTN

January 10, 2021

民主党の自棄的な狂気の行動は、超-暴風が、ワシントン DC 内部に、山崩れを起こそうとしていることを、彼らが知っていることを示している——それは確実である！



深層国家はトランプ大統領に囁いた、「あなたはこの嵐には耐えられないでしょう」。大統領は囁き返した、「私とその嵐だ」。

この重要な記事は、きょう完了する予定です・・・SOTNのスタッフが暴風に耐えられるように、我々の家や雑事の用意を済ませたあとで。

一方で、愛国者の皆さん方は、**Recent Posts** という見出しの中身をよく読んでおかれると、役に立つと思います。きょうは、代替メディアの歴史で、最も重大な日になりそうで、明日はおそらく、もっと重大な日になると思われまます。データの大量放出、機密の大漏洩、情報のダウンロードなどが、世界全体を唾然とさせ、しかもそれは、知られた暴露記事のほんの一部となるでしょう。その一つがこれです：——

「イタリアの最高裁が、誰が米選挙を盗んだかを明らかにする」

<http://stateofthenation.co/?p=46786>

また、この小さなウィキリークスのデータ放出は、代替メディアの調査ジャーナリストや、陰謀の探偵たちを、何か月も続けて忙しくさせるでしょう。

ウィキリークスの最近のデータ放出全体は、深層国家を吹き飛ばした

<http://stateofthenation.co/?p=46645>

SOTN の読者の方々、理解をしていただき感謝します。あなた方も皆同じように、準備をされるべきです。なぜなら我々は、極端に混沌とした、これまでの全く例のない、海域へと入っていく可能性があるからです。

そして、やがて我々を襲うであろう（不可避の）混乱の、荒れ狂う期間を、止める方法はないでしょう。

Alfio D'Urso 教授、イタリア最高裁法学者が、Arturo D'Elia の証言付きの宣誓供述書を読む。彼は宣誓の下で、彼がアメリカの選挙を盗んだ本人であることを証言する。（前記一つ目のビデオ）・・・

このビデオのトランスクリプト（16行）の翻訳は、面倒なので省略（訳者）

[Greatchain 訳注]

このワシントン官庁街に起こる「暴風」による山崩れとは何だろうか？ それは、スネに傷を持つ者にとって、よほど恐ろしい何かに違いない。トランプ大統領の寿命があと 10 日もないというのに、民主党や深層国家（特にナンシー・ペロシ）が、これほど慌てふためくのは、何かよほど恐ろしい暴露と逮捕が予想されるということである

う。これ以上のことは何も予測できず、ただトランプの成功を祈りながら、楽しみに（しかし節度を保って）結果を見届けるより仕方がないことである。

——以上